

『やまがた緑環境税活用事業』これまでの取り組み概要 (平成19年度～平成27年度)

1 現行制度の概要

(1) 税の目的

やまがた緑環境税は、本県の森林を県民共有の財産として捉え、環境保全を重視した施策の展開や21世紀にふさわしい県民と森林との関わりとの構築など、県民みんなで支える新たな森づくりを推進し、将来にわたり森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮を図り、森林を健全な姿で未来に引き継いでいくことを目的に導入しています。

(2) 課税方法

- 課税方式 個人県民税及び法人県民税の均等割の超過課税方式
- 納税義務者
 - ・ 個人 県内に住所等を有する個人（ただし、住民税が課税されているものに限る）
 - ・ 法人 県内に事業所等を有する法人
- 税率
 - ・ 個人 1,000円（年額）
 - ・ 法人 均等割の税率に100分の10を乗じて得た額（年額）

資本金等の額	1千万円以下	1千万円超1億円以下	1億円超10億円以下	10億円超50億円以下	50億円超
税額	2,000円	5,000円	13,000円	54,000円	80,000円

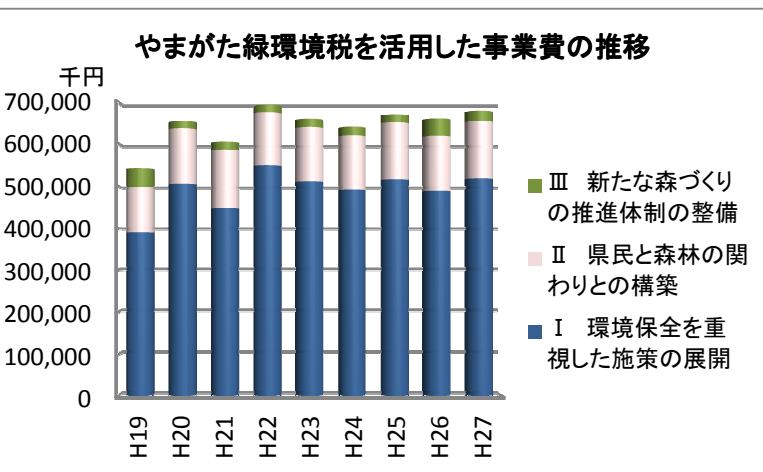
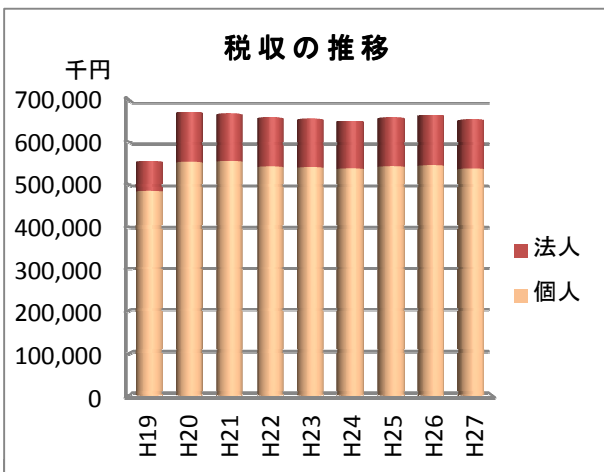
(3) 透明性の確保

普通税のメリットを活かしつつ、目的税の効果を持たせるため、「やまがた緑環境税基金」を設置し、やまがた緑環境税をすべて基金に積み立て、これを取り崩し使途に充てることによって、使途を限定し透明性を確保しています。

2 税収の推移

(単位:千円)

年 度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27(計画)
個人	481,669	551,908	553,621	540,328	538,907	536,269	540,710	542,873	536,000
法人	72,008	118,081	112,426	115,798	114,396	111,189	115,321	118,896	116,000
合計	553,677	669,989	666,047	656,126	653,303	647,458	656,031	661,769	652,000
緑環境税充当事業費	541,469	652,187	602,682	691,567	658,289	640,099	668,987	658,936	679,000

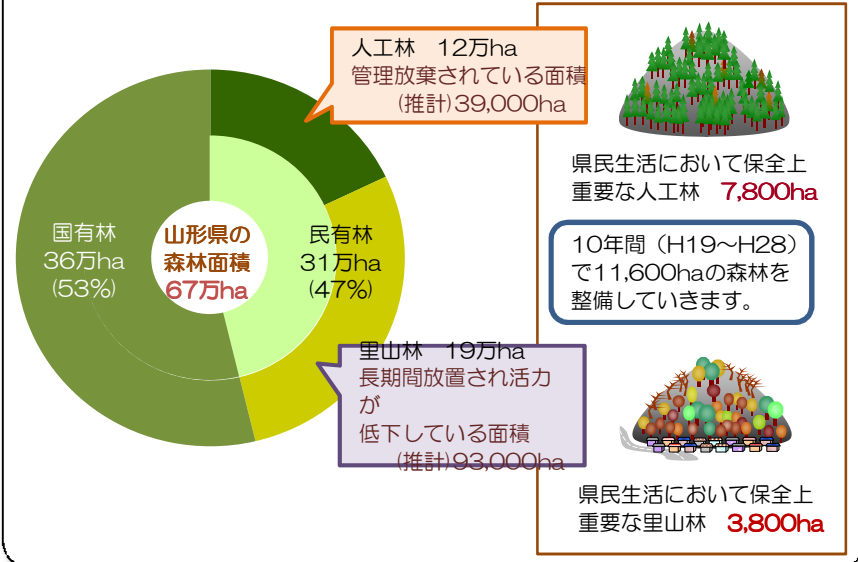


3 やまがた緑環境税を活用した事業費の推移 (税ベース)

(単位:千円)

区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27(計画)
I 環境保全を重視した施策の展開	389,686	504,962	448,549	547,651	509,991	488,873	516,303	486,423	518,323
①環境保全を重視した森林整備の推進	371,519	475,855	428,721	501,855	460,111	443,076	455,151	437,600	457,223
②環境保全に配慮した森林資源循環利用の促進	18,167	29,107	19,828	45,796	49,880	45,797	61,152	48,823	61,100
II 21世紀にふさわしい県民と森林の関わりとの構築	107,933	131,841	136,920	126,258	129,370	131,089	133,226	132,679	134,300
①県民参加の森づくりの推進	95,997	113,926	116,986	112,150	115,370	118,268	118,942	118,488	121,121
②自然環境保全対策の推進	6,561	13,344	13,853	8,509	7,583	8,173	10,074	9,946	9,710
③自然環境学習や森に親しむ環境づくりの推進	5,375	4,571	6,081	5,599	6,417	4,648	4,210	4,245	3,469
III 新たな森づくりの推進体制の整備	43,850	15,384	17,213	17,658	18,928	20,136	19,458	39,834	26,377
①推進体制の整備	5,789	6,252	9,779	9,960	10,260	12,472	12,197	12,844	17,651
②普及啓発の強化	38,061	9,132	7,434	7,698	8,668	7,664	7,261	26,990	8,726
計	541,469	652,187	602,682	691,567	658,289	640,098	668,987	658,936	679,000

荒廃が懸念される森林と10年間で整備する森林面積

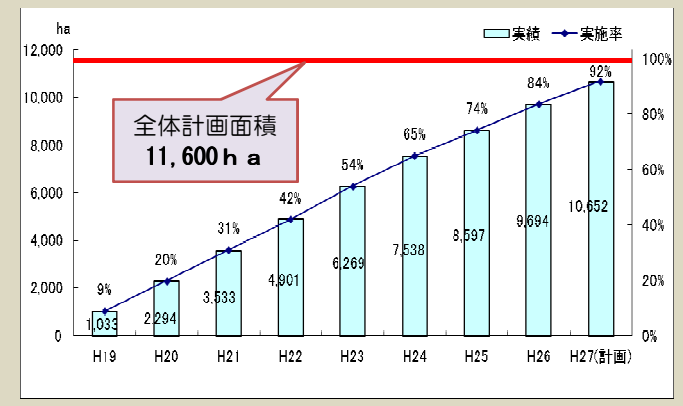


森林の有する公益的機能

- ① 生物多様性保全機能
- ② 地球環境保全機能
- ③ 土砂災害防止機能／土壌保全機能
- ④ 水源涵養機能
- ⑤ 快適環境形成機能
- ⑥ 保健・レクリエーション機能
- ⑦ 文化機能

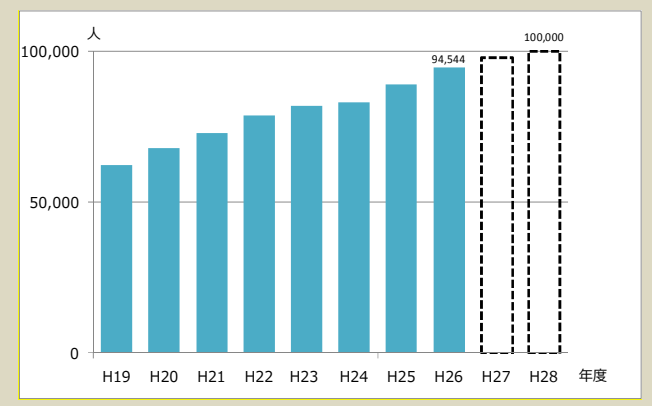
※ これに、「林産物生産機能」を含め、森林の多面的機能と呼んでいます。
(H13.11 日本学術会議答申より)

荒廃森林緊急整備事業実施面積の推移



H19からH26までの8年間のこの事業の実績は9,694haで、H28までの10年間の計画11,600haに対する進捗率は84%となっており、ほぼ計画通りの実施となっています。

県民参加の森づくり参加人数の推移



森づくり参加人数は、H19の約6万2千人からH26には約9万5千人に増加しており、H28(10年目)目標10万人の達成に向け着実に増加しています。